

尖閣列島で密輸

密輸船を急派

警察の戦車取締りを開始貿易は次第に減少しつつあるようだ。がまたまた税を納まず、陸上の取引の危険から今度は海上取引が行われていたようだ。最近宮古、八重山諸から送られた無本への通信によると、尖閣列島の漁船を中心として密輸船が動いているらしく、同列島から帰った漁船を調べたところ次のような情報提供を得たとなっている。

△尖閣列島には相当数の密輸船が出没している。

△彼等は二、三年分の食糧や武器を積んでいる。

△非武装民衆のため同列島に早く密輸と連絡している。

△香港連絡は沖縄から通じた船舶が動いている。

このことから大がかりな密輸団の組織ではないかと見られ、警本では廿六日警備船月夜丸を尖閣列島に派遣、五月六日まで同列島上の取締りに努めた。

同船には近川警部、伊佐警部補等が乗乗、近く何等かの報告があったとされるものと見られている。

1953. 4. 30
T(3)